

平成27年6月10日
 西日本高速道路株式会社

平成27年3月期 決算概要

連結決算概要(経営成績)について

(単位:億円)

区 分	H27/3 期 実績 (A)	H26/3 期 実績 (B)	増減		行 番号	
			(A)-(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %		
営業収益	高速道路事業	9,615	8,287	1,327	16.0	①
	料金収入	7,181	6,053	1,127	18.6	②
	道路資産完成高	2,400	2,204	196	8.9	③
	その他	32	28	3	13.0	④
	関連事業	504	578	▲ 73	▲ 12.7	⑤
	SA・PA事業 ^{※2}	327	347	▲ 20	▲ 5.9	⑥
	その他の事業 ^{※3}	177	230	▲ 53	▲ 23.1	⑦
	10,120	8,866	1,254	14.1	⑧	
営業費用	高速道路事業	9,606	8,298	1,307	15.8	⑨
	道路資産賃借料	5,210	4,263	946	22.2	⑩
	管理費用	1,995	1,800	195	10.9	⑪
	道路資産完成原価	2,400	2,235	165	7.4	⑫
	関連事業	458	522	▲ 64	▲ 12.3	⑬
	SA・PA事業 ^{※2}	277	285	▲ 7	▲ 2.6	⑭
その他の事業 ^{※3}	180	237	▲ 56	▲ 23.9	⑮	
	10,064	8,821	1,243	14.1	⑯	
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	8	▲ 11	19	-	⑰
	関連事業	46	56	▲ 9	▲ 16.8	⑱
	(うちSA・PA事業)	49	62	▲ 12	▲ 20.8	⑲
	55	44	10	23.5	⑳	
経常利益	79	61	17	29.1	㉑	
当期純利益	30	34	▲ 4	▲ 13.2	㉒	

※1 当社グループは、当社及び連結子会社26社、持分法適用の関連会社等7社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、その他の事業を行っております。

※2 「SA・PA事業」とは、高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)における飲食・物販及びその不動産を賃貸する等の事業をいいます。

※3 「その他の事業」とは、受託事業、コンサルティング事業、収益還元事業等の事業をいいます。

※文中の丸囲み番号は、1 ページの表の右側に記載の「行番号」と対応しています。

高速道路事業トピックス

《通行台数と料金収入》

- 当決算期の当社管内の高速道路の通行台数は、前期比 3.8%減少し、271 万台/日となりました。
- 営業収益のうち高速道路料金収入は、前期比 1,127 億円増の 7,181 億円となりました。…②

《営業費用》

- 営業費用のうち、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する道路資産賃借料は、料金収入の増加に伴い、前期比 946 億円増の 5,210 億円となりました。…⑩
- 管理費用は、前期比 195 億円増の 1,995 億円となりました。…⑪

《道路資産完成高と道路資産完成原価》

- 道路資産完成高は徳島自動車道（徳島インターチェンジ～鳴門ジャンクション）や東九州自動車道（豊前インターチェンジ～宇佐インターチェンジ、行橋インターチェンジ～みやこ豊津インターチェンジ）などの完成があり、前期比 196 億円増の 2,400 億円となりました。…③
なお、道路建設にかかった経費と同額の債務を機構に引き渡すため、道路資産完成高は道路資産完成原価と同額となり、道路建設から利益や損失は発生しません。…⑫

《高速道路事業営業収益及び営業利益》

- 高速道路事業全体の営業収益は前期比 1,327 億円増の 9,615 億円、営業利益は、前期比 19 億円増の 8 億円となりました。…①、⑰

※文中の丸囲み番号は、1ページの表の右側に記載の「行番号」と対応しています。

関連事業トピックス

《SA・PA事業営業収益及び営業利益》

- SA・PA事業については、交通量の減少等による店舗売上高の減少等により、営業収益は前期比20億円減の327億円となり、その結果、営業利益は前期比12億円減の49億円となりました。…⑥、⑱

《関連事業営業収益及び営業利益》

- SA・PA事業とその他の関連事業を合わせた関連事業全体の営業収益は、国などからの受託事業の収益が減少したことなどにより、前期比73億円減の504億円となりました。…⑤
また、営業利益は、SA・PA事業営業利益の減少が影響し、前期比9億円減の46億円となりました。…⑱

全事業の業績について

- 以上のことから全事業の営業収益は、前期比1,254億円増の10,120億円となりました。…⑧
- 利益面では、営業利益は前期比10億円増の55億円、経常利益は前期比17億円増の79億円、当期純利益は前期比4億円減の30億円となりました。…⑳、㉑、㉒

【参考1】 個別決算概要(経営成績)について

(単位:億円)

区 分	H27/3 期 実績 (A)	H26/3 期 実績 (B)	増減		
			(A)-(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %	
営業収益	高速道路事業	9,591	8,268	1,323	16.0
	料金収入	7,183	6,055	1,128	18.6
	道路資産完成高	2,400	2,204	196	8.9
	その他	6	8	▲ 1	▲ 17.2
	関連事業	204	247	▲ 42	▲ 17.3
	SA・PA事業	105	105	0	0.4
	その他の事業	98	142	▲ 43	▲ 30.4
	9,795	8,515	1,280	15.0	
営業費用	高速道路事業	9,599	8,284	1,315	15.9
	道路資産賃借料	5,210	4,263	946	22.2
	管理費用	1,988	1,785	202	11.4
	道路資産完成原価	2,400	2,235	165	7.4
	関連事業	186	225	▲ 38	▲ 17.1
	SA・PA事業	78	69	9	12.9
	その他の事業	107	155	▲ 47	▲ 30.6
	9,786	8,510	1,276	15.0	
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	▲ 8	▲ 16	7	-
	関連事業	17	21	▲ 4	▲ 19.3
	8	5	3	68.4	
経常利益	37	19	17	90.6	
当期純利益(損失▲)	4	▲ 5	10	-	

【参考2】 連結貸借対照表

(単位:億円)

	H27/3 期末	H26/3 期末	増減	主な増減内訳								
連結資産	9,517	9,295	221	<ul style="list-style-type: none"> ・未収入金の増 55 〔 料金未収入金の増 114 道路完成高未収入金の減 ▲59 〕 ・仕掛道路資産の増 1 〔 高速道路建設投資 2,401 完成道路資産の引渡し ▲2,400 〕 ・設備投資 379 ・減価償却費 ▲217 								
連結負債	7,902	7,702	200	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路建設投資未払金の減 ▲128 ・設備投資に係る未払金の増 40 ・道路資産賃借料未払金の増 309 ・未払法人税等の増 28 ・ETC マイレージサービス引当金の増 12 ・退職給付会計基準改正による増 32 ・道路建設関係有利子負債の減 ▲144 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>期首</th> <th>調達</th> <th>機構引渡</th> <th>期末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4,554</td> <td style="text-align: center;">2,500</td> <td style="text-align: center;">▲2,644</td> <td style="text-align: center;">4,409</td> </tr> </tbody> </table>	期首	調達	機構引渡	期末	4,554	2,500	▲2,644	4,409
期首	調達	機構引渡	期末									
4,554	2,500	▲2,644	4,409									
連結純資産	1,614	1,593	21	<ul style="list-style-type: none"> ・当期純利益 30 ・退職給付関連の調整額 ▲8 								
自己資本比率	17.0%	17.1%	▲0.1									

【参考3】 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	H27/3 期	主な増減内訳
営業キャッシュ・フロー	436	
(道路建設投資)	(▲69)	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路建設投資 ▲2,401 ・高速道路建設投資未払金の減 ▲128 ・完成道路資産の引渡し 2,400 ・道路完成高未収入金の減 59
(その他)	(505)	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前当期純利益 76 ・減価償却費 217 ・道路資産賃借料未払金の増 309
投資キャッシュ・フロー	▲ 285	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の取得による支出 ▲288
財務キャッシュ・フロー	▲ 154	<ul style="list-style-type: none"> ・新規社債・借入による資金調達 2,496 ・社債・借入金の機構引渡し ▲2,641
現金及び現金同等物の 期首残高	1,439	
現金及び現金同等物の 増減額	▲ 1	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,438	

【道路会社のキャッシュ・フロー計算書について】

- ・高速道路への建設投資は、道路会社にとって機構に対する「商品」のため、投資額は『営業活動CF』のマイナスに整理し、これに見合う資金は社債・借入金により調達するため『財務活動CF』のプラスとしています。
- ・高速道路が開通し、道路資産及び社債・借入金を機構に引き渡す際に、道路資産完成高を『営業活動CF』のプラス、社債・借入金の引渡額を『財務活動CF』のマイナスとしています。
- ・従って、高速道路への投資額が道路資産完成高を上回る決算期において、『営業活動CF』がマイナスとなる場合があります。

【参考4】平成28年3月期業績予想

(単位:億円)

区 分		連結			個別
		H28/3 期 予想 (A)	H27/3 期 実績 (B)	増減 (A)-(B)	H28/3 期 予想
営業収益	高速道路事業	8,014	9,615	▲1,600	7,997
	うち料金収入	6,721	7,181	▲ 460	6,722
	うち道路資産完成高	1,274	2,400	▲1,126	1,274
	関連事業	569	504	64	250
	うちSA・PA事業	344	327	17	105
	計	8,584	10,120	▲1,536	8,247
営業利益	高速道路事業	9	8	0	6
	関連事業	47	46	0	14
	計	56	55	1	21
経常利益		57	79	▲ 22	14
当期純利益		35	30	5	9

- ・高速道路料金収入は、前期比 460 億円減の 6,721 億円を見込んでいます。
- ・道路資産完成高は、前期比 1,126 億円減の 1,274 億円を見込んでいます。
- ・高速道路事業の営業利益は、前期とほぼ同等の 9 億円を見込んでいます。
- ・関連事業の営業収益は、前期比 64 億円増の 569 億円を見込んでいます。
- ・関連事業の営業利益は、前期とほぼ同等の 47 億円を見込んでいます。